

補足レポート



ASSESSMENT TO ACTION

田中 太郎
2016/12/02

レポート提供者：

Your Company
123 Main Street
Smithville, MN 54321
612-123-9876
www.yourcompany.com



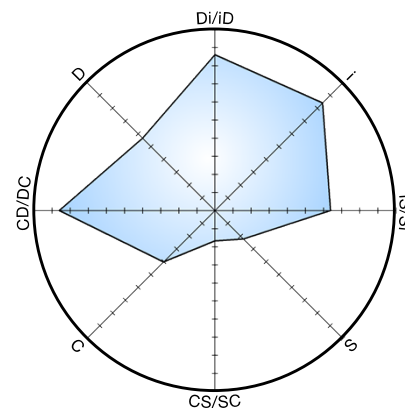
WILEY



Everything DiSC®におけるドットおよび「シェード（色づけされた半円形の箇所）」は、田中さんのDiSC®スタイルの概要を示しています。この補足レポートで、より深く理解しましょう。

1) 田中さんのDiSC®尺度

右に示される、田中さんの「レーダーチャート」の形状は、8つのDiSC尺度のスコアを示しています。DiSCスタイルおよびドットの位置は、これらのスコアに基づく独自のアルゴリズムによって算出されます。ポイントが円の縁に近いほど、その尺度に関する田中さんのスコアは高くなります。これらの尺度の詳細については、Everything DiSC 研究レポートをご覧ください。



2) iD スタイルとしては予想外な田中さんの回答項目

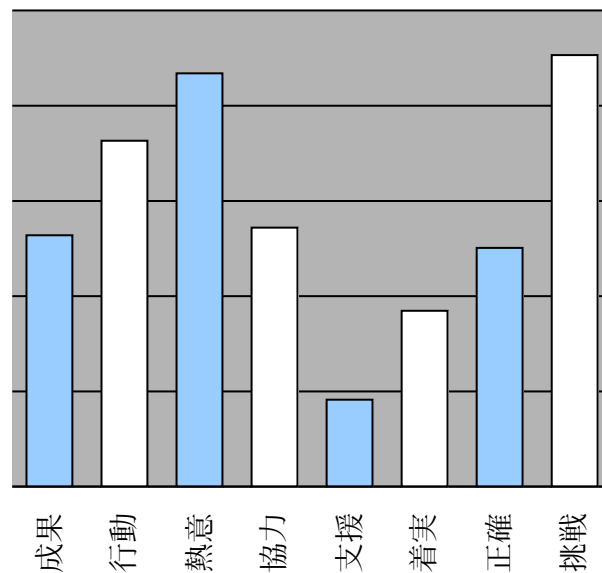
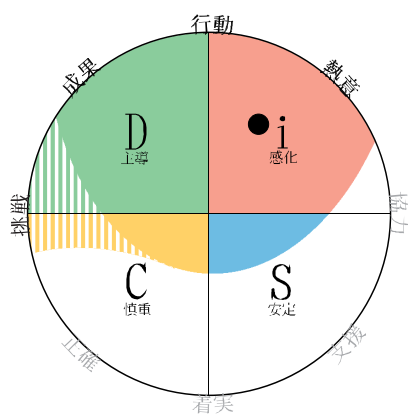
以下の設問項目に対する田中さんの回答結果は、ご本人のiDスタイルと相関関係がありません。カッコ内の数字は、各設問への回答結果を5段階の目盛で示しています。

- 私は注意深く、段階的に物事を行うのを好む。(4)
- 私は、他の人に対して非常に寛容だ。(5)
- 私は単独主義だ。(5)
- 私は、几帳面(きちょうめん)だ。(4)
- 私は静かな分析環境を好む。(4)

- 私は、物事を良く考えてから話す。(4)
- 私は物事の正確性を求める。(5)
- 私は、正確性を優先する。(4)
- 私は温厚だ。(4)
- 私は大変外向的だ。(1)

3) 田中さんの優先事項（プライオリティ）補助尺度

Everything DiSC Workplace®で特定する8つの優先事項補助尺度上のスコアは、田中さんに1つもしくは2つの追加優先事項があるかどうかを判定するために使用されます。下記の田中さんのDiSCマップ上のシェードは、ご本人のiDスタイルに関連する3つの典型的な優先事項（成果、行動、熱意）、およびストライプで示される追加優先事項（挑戦）、合計で4つの優先事項を示しています。



上記の棒グラフは、田中さんの8つの優先事項尺度上のスコアを示しています。これにより、ご本人の追加優先事項が特定されました。

用語の定義

DiSC[®]尺度：Everything DiSC[®]の標準設問項目は、D、Di/iD、i、iS/Si、S、SC/CS、C、CD/DC の8つのDiSC 尺度のうちどれか1つにそれぞれ割り当てられています。回答者は、この8つの各尺度に対しスコアを取得します。そのスコアは、DiSC スタイルおよびドットの配置を判定するために使用されます。このアセスメントのアルゴリズムが、各尺度のスコアを評価し、最も適切なDiSC スタイルを回答者に割り当てます。具体的には、D、Di、iD、i、iS、Si、S、SC、CS、C、CD、DC から割り当てます。

予想外の設問項目：これらは、回答者が自分のDiSC スタイルとは関連性のない回答をした設問です。例えば、Dスタイルの人が「S」の設問に強く同意している場合、これは想定外と言えます。同じように、その人の「D」の設問が低く評価されている場合、その回答も想定外と言えます。これらの設問は、回答者の傾向が、その人のDiSC スタイルの典型的な行動とは、多少なりとも異なっているということを理解するために、付加的なデータとして示しています。

優先事項：円の周辺に表示されているように、各DiSC スタイルは、3つの優先事項と関連しています。回答者には、棒グラフに示される「補助尺度」のスコアとは関わりなく、自分のDiSC スタイルと関連する3つの優先事項が必ず割り当てられます。

優先事項の補助尺度：各Everything DiSC 教材は、同じ標準設問項目に基づいて構成されていますが、各教材には専用の追加設問があります。これらの設問は、回答者が追加の優先事項を有するかどうかを判定するために、各教材専用の尺度の計算に使用されます。ある教材では高い優先事項の補助尺度を有しながら、別の教材ではそうではないということもあり得ます。

追加優先事項：各回答者には、自分のDiSC スタイルに関連する3つの優先事項が基本として割り当てられます。しかしながら、回答者が他の優先事項の補助尺度で高いスコアをあげた場合、その回答者には2つまでの追加優先事項が割り当てられます。これは良し悪しを問うものではありません。4つまたは5つの優先事項を有することが、3つの場合より優れているというわけではありません。これらの追加優先事項は、DiSC マップに太字およびストライプのシェードで示され、回答者のDiSC をよりの確に表現しています。

よくある質問

Q：2ページにある、棒グラフと「レーダーチャート」の違いは何ですか。

A：2ページにある棒グラフは、優先事項のスコアを示しています。これはご自身が受けたEverything DiSC[®]教材専用のものです。「レーダーチャート」は、8つのDiSC 尺度スコアに基づいており、どのEverything DiSC[®]シリーズ教材でも共通です。

Q：棒グラフではそれほど高くない優先事項が、シェードで示されることはありますか。

A：はい。該当する棒グラフの棒の高さに関わらず、ご自身のドットに最も近い3つの優先事項は、常にシェードで示されます。これら3つの優先事項は、理論上ご自身のDiSC スタイルに関連しています。

Q：棒グラフで示されている「追加優先事項の補助尺度」は、私のDiSC スタイルに関連する3つの補助尺度のどれよりも高くなっています。それが私のドット配置に影響していますか。

A：いいえ。ドットの配置は、8つのDiSC 尺度のスコアからのみ判定されます。優先事項の補助尺度は、追加優先事項を有するかどうかを判定することにのみ使用されます。

Q：「予想外の設問項目」には、その設問への回答スコアが高い場合と低い場合の両方が含まれていますか。

A：はい。「予想外の設問項目」は、通常ご自身のスタイルにおいて低く評価されるであろう設問に対して高いスコアを付けた場合、また逆に、通常は高い場合が多い設問に対して低く回答した場合にも表記されます。